

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あやばにハウス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 22日		2026年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 2月 6日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	18か所	(回答数) 18か所
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○信頼関係構築 担任の先生方や訪問先施設との信頼関係を構築することに努めています。	○初期段階での信頼構築 訪問開始時は助言や提案を控え、信頼関係を構築することを優先しています。	○専門職の研修強化 専門職の研修を強化し、最新の知識や技術を活用した支援を提供できるように努めていきたいと思っています。
2	○丁寧な説明と助言 訪問時のご様子を、保護者様や訪問先施設に報告しています。先生方の教育方針に応じて必要なタイミングで情報提供ができるように努めています。	○行動観察と報告の徹底 行動観察を通じて、好ましい行動やまだうまくできない行動(課題)を抽出し、報告書にまとめています。	○テンプレートと定型文の整備 報告書で頻繁に使用するフレーズや文章パターンをテンプレート化し、迅速かつ統一感ある報告書作成を目指します。
3	○柔軟な対応 訪問支援の個別支援計画に基づき、施設や保護者様のニーズに応じた柔軟な対応を行っています。	○保護者様への情報提供 保護者に先生方の声掛けや支援方法を報告し、有効な支援方法を情報提供しています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○初期段階での支援展開の遅れ 信頼構築に時間をかけることで、初期段階で迅速な助言が難しい場合があります。	訪問報告書には詳細な情報が求められるため、作成に時間がかかります。 職員数や時間的余裕が限られているため、業務負担が集中しています。	○初期段階での信頼構築の効率化 信頼構築の構築のため、訪問支援員のコミュニケーション技術の向上に向けた研修を行なっています。 ○事前準備の充実 訪問前に保護者や施設と事前打ち合わせを行い、迅速な支援展開ができるように努めていきます。
2	○緊急時対応体制の課題 緊急時における施設との連携体制が十分でない場合があります。	基本的な安全計画は作成していますが、訪問先ごとの連携強化やマニュアル策定は実施できていません。	○緊急時対応マニュアルの整備 緊急時対応について訪問先施設との連携を強化するための具体的なマニュアルを策定していきます。 ○定期的な会議の開催 訪問先施設との定期的な会議を通じて、緊急時対応についての情報共有と連携を強化していきたいと思っています。
3			